

全員がやりきった成就感と成長を感じられるように。

平成29年度運動会が目前に迫ってまいりました。当日天候に恵まれることを願うばかりです。

さて、毎年行われる運動会ですが、種目や内容等が変更していることは皆様も感じておられると思います。そこで、今回は、「運動会」について考えてみます。特別活動の中の学校行事「健康安全・体育的行事」に位置づけられています。この行事である「運動会」を通して次の力を育てたいと考えています。

①【勝つために全力を尽くす】を目標に

全力でがんばる力、団結力・連帯感、体力の向上、フェアプレーの精神、勝敗への正しい態度を育てます。

勝っても負けてもよいのであれば、暑い最中の練習はただ疲れるだけで、手抜きをしようということになってしまい、事故にもつながります。たとえ1位になれなくても2位になれば3位よりも得点が高くなります。その積み重ねが優勝へと結びつきます。そのがんばりを褒めてあげたいと思います。ただし、反則やズルをして勝ってもほんとの勝ちではありません。フェアプレーで戦い、勝った時も負けた方をさげすんだり、悪態をついたりせず、正々堂々とした態度を育てたいと思います。

②【練習を通して集団行動を徹底する】を目標に、

集団行動力、規律ある態度、協力、集中力を育てます。

運動会は、練習から本番まで集団行動のオンパレードです。まずは「行進」、体育の授業では扱わなくなっているのですが、一つの演技として、低学年は音楽にあわせて前後左右の人を意識しながら足並みをそろえて歩くことは、大変難しいことです。それで、「元気に手をふってまっすぐ行進する」をめあてにしました。中学年は、「手を大きくふり横列をそろえて行進する」高学年は、「胸を張り堂々と行進する」をめあてにしました。また、練習中も本番も含めて①集合時刻をまもる②移動はかけ足で素早く動く③先生が話す時は、口を閉じ静かに聴くなど、このような力を育てたいと思います。

③【高学年が運営をし誇りを持つ】を目標に、責任感、協力、自尊感情を育てます。

委員会活動やペア掃除などグループの中では、リーダーとして活動している5・6年生ですが、保護者の方や地域の方がたくさん見えられる運動会という場でそれぞれの役割を果たし、運動会を成功へ導いていく経験は、高学年としての自覚を育てるチャンスでもあります。

1年生から6年生のみんなが協力しながらお互いの奮闘を信じて頑張る姿を楽しみにしています。

最後に、保護者の皆様、地域の皆様、子どもたちのがんばる姿に声援をお願いいたします。

校長 土井 安博